

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イーネットスクール		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 7日 ~ R7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日 ~ R7年 1月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 20日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・くもん教材で、繰り返し学習することで、学習習慣を身に付け、基礎学力を高める。また自学自習の力や自己肯定感を育むことができる。	・利用者の特性に合わせた採点を、職員が共有して偏りがないようを行っている。 ・毎回、内容を確認して、取り組む教材を決めている。	
2	・利用時間を決めることで、集中して学習等に取り組める。	・小学低学年は、到着時間や終了時間を確認することで、時刻や時間の学習できる。 ・集中して時間内に課題が終えられるよう課題の内容や量、順番を工夫し、それぞれのスケジュールをたてる。	
3	・利用時間を決めることで児童の利用が分散され、職員が個々に関わる時間を作ることができる。	・個々のスケジュールに合わせて、担当職員を決めることで、利用者それぞれに必要な職員の配置ができる。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎がない。	・送迎を行うことで、支援の時間が手薄になるため、送迎は考えていない。	・保護者の負担を考えると、送迎ができるといいと思うが、送迎を行わないことで、支援時間に多く職員の配置ができる。送迎時に保護者と話す時間が持て、会話の中から本人や保護者の困りごとを知り、助言できる等、強みともなっている。
2	・平日は、個人別の学習が多く、集団活動は難しい。	・平日の週2日の利用時に集団で行う課題を見つけ、長期休みに集団での活動を考えている。	・平日の週2日と月1日の土曜日の利用を提案していく。